

のすとらだむす

DOJIN
R18
成人向け
18歳未満の
購入・閲覧禁止

マゾアーカイブ



キヴォトスの朝はいつも忙しい、
私は連邦捜査部「シャーレ」のオフィスで、
いつものように書類の山と格闘中。
そこにゲヘナ学園のムツキが
ニヤニヤしながら飛び込んできた。

くふふ！ せんせー！ やっほー！
今日もお仕事頑張ってるね♡
ムツキがせんせーにご褒美あげよっか？

くふふふ、せんせー、願った赤たよう？
いやーん、ムツキのパンツ見ただけで
そんなになっちゃうのー？かわいー！
もしかして仕事忙しくて溜まってるの？

♡
♡

♡
♡

ムツキはスカートの裾を指でつまんで
チラチラと持ち上げる。
パンツの縁が見え隠れし、
私の視線を釘付けにする。
私の喉がゴクリと鳴り、
ズボンの中で下半身が
熱く反応するのを感じた。

ちら♡

くふふ、せんせー、
ムツキに何してほしい？
言ってみてよ！

♡
♡

♡
♡

ちら♡

ムツキはクスクスと笑い私の目の前でしゃがみ込んだ。顔が俺の腰の辺りに近づき、上目遣いで私を見上げる。
ムツキはニヤリと笑うと手を自分の唇の前に持っていていき、まるで何かを咥えるような仕草でゆっくりと手を動かした。
——フェラの素振り。彼女の細い指が空気をなぞり、舌をチロリと覗かせて、わざとらしい吐息を漏らす。
ムツキ……これ以上は……！
ムツキが私の弱さを見透かし、彼女はさらに一歩踏み込む。

くふふふ、せんせー、
ムツキにそんなことお願いしちゃうんだ？
じゃ、全裸になって手は頭の上ね♡

♡
♡
♡

♡
♡
♡

誘惑の甘い毒に抗えず、
俺はついに口を開いた。
ムツキ……射精させて……！
その瞬間、
ムツキの笑顔がまるで
悪魔のような勝ち誇った笑みに。

ちら♡

素直に従う私、ドキドキしながら油断していると、
彼女はポケットから何かを取り出し、ニヤリと笑う。
それは小さな金属製の器具——貞操帯だった。
ムツキの素早い手つきで冷たい金属が下半身に装着された。
カチリと音を立てて鍵が閉まり、
私の欲望は文字通り封じ込められた。
ムツキは立ち上がり、満足げに笑う。

くふふ、せんせー、これで一週間、我慢してね！
ほら、ちゃんと我慢できたなら、ご褒美あげるから♡

ああ…そんな…ムツキ…

ゴクッ

ビクッ

ワス♡ ワス♡

ムツキは軽やかにオフィスを後にし、
ドアが閉まる音が響く。

そして、一週間の禁欲の日々が始まった。

毎日、ムツキの挑発的で魅惑な笑顔が脳裏をよぎり、
貞操帯の中で欲望が疼く。



ワス♡

ワス♡

ビュッ

ゴクッ

そんな中、スマホに一通のメッセージが届いた。
「せんせー、今日、夜8時にこのホテルに来てね〜♡
ご褒美用意してるよ！」
差出人は、もちろんムツキ。
住所と部屋番号が記載されたメッセージに
俺は抗えず、足を運んだ。

ホテルの部屋のドアをノックすると、ムツキがニヤリと笑って迎え入れた。薄暗い部屋の中、彼女はいつもの制服ではなく、いやらしい黒ビキニを着ている、瞳が妖しく光り、悪戯な笑みが浮かんでいる。

くふふ、せんせー、よく我慢できたね！
じゃあ、ご褒美タイム、始めようか？



ムツキに促され、私はベッドに腰掛ける。
彼女は私の隣に座る。

ん？？！せんせー、
この一週間、ムツキのことばっか考えてたでしょ？
くふふ♡

ムツキが貞操帯を外す。
冷たい金属が外れた瞬間、
解放感と共に下半身が熱く疼いた。
ムツキの柔らかな手が、ゆっくりと、
だが確実に私の陰茎を握り、焦らすように
上下に動かし始める。

トちゅ……♡

くちゅ……♡



ほら、せんせー、気持ちいい？
私の手、すこしく柔らかいでしょー？

ムツキの声は甘く吐息が耳元をくすぐる。
ゆっくりとした手コキは、快感をじわじわと
積み上げる拷問のようだ。
私は耐えきれず、喘ぎ声を漏らす。
彼女はクスクスと笑う。

くふふ、せんせー、焦らないですよ。
せんせーをもっと楽しませたいんだから！

その時、ムツキがスマホを取り出し、私の目の前に差し出した。

画面をタップすると、映像が流れ始めた。

そこにはムツキが映っていた——が、

彼女は知らない男と絡み合っていた。

ムツキが男の首に腕を回し、唇を重ね、舌を絡ませる。

彼女の瞳がカメラをチラリと見つめ、

まるで私を挑発するようにニヤリと笑う。

な……何、これ……？

私の声は震え、混乱と興奮が胸を締め付ける。

くちゅ……♡

トゅ……♡



ふふふ、せんせー、興奮してる〜
私、先生が濃い精液たっぷり出せるように頑張ってます♡
せんせー、寝取られモノ好きでしょう？
よくエッチなサイトで購入してるよね？
あはは、それくらいの情報私なら調べられちゃうよ♡

ちゅる♡ ちゅ♡

彼女の指が敏感な先端を撫で、
快感と映像の衝撃が混ざり合い、頭が真っ白になる。

あはは、もうイきそうだね♡
せんせーの短小包茎おちんちん♡
でもまだだーめ♡
続きがあるんだから♡

映像の続きが開始される。

ゆっくりと唇を近づけ、いやらしく舌を這わせ、
じゅぽじゅぽと、濃厚なフエラを始めた…

じゅぽじゅぽ

ずゅぽぽ

じゅぽぽ
ずゅぽぽ

柔らかな唇が先端に触れ、舌がゆっくりと這う。
彼女は焦らすように先端を軽く舐め、
時折チロリと舌を動かして濡れた音を立てる。
ムツキの唇が滑らかに動き、男のものを深く啜え込む。

彼女の舌が巧みに絡みつぎ、
吸い上げるたびに湿った音が響く、

彼女の口内で舌が複雑に動き、丹念に亀頭を
舐めしゃぶり、男は絶頂へと導かれていく...

ぎゅっ

ぎゅっ

ぎゅっ

唇が根元まで滑り、頬が凹むほど強く吸う、
そのいやらしい顔に俺は射精寸前だった...

彼女の手が一瞬だけ強く握り、
絶妙なタイミングで擦り上げる。
映像のムツキの動きと彼女の手のリズムが重なり、
私の理性は完全に崩壊した。

ムツキ……もう、ダメだ……!!

情けない声を上げ、私は耐えきれず射精した。
熱い奔流がムツキの手を濡らし、
彼女の笑い声が部屋に響く。

どゅん
どゅん

くちゅ……

トキ……

くふふ、せんせー、
こんな適当な手コキで出しちゃうなんて、
ほんと情けないー!!

そんなに私のフェラ顔、
興奮しちゃった？♡

きゃはははは！♡

ひゅるるる
ひゅッ
ひゅるる

ひゅ
ひゅ
ひゅ

映像のクライマックスで男が射精し、ムツキの顔にも白濁が飛び散る。

彼女はカメラに向かってニヤリと笑い、両手でダブルピースを作り、瞳を輝かせる、

顔に滴る精液をそのままに、舌をんべーっと出して

挑発する姿を見て

私はまたすぐに勃起した…

ドキドキ……

ムツキ……私にも、その、して欲しい……!!
欲望に負け、情けない声で懇願したが、ムツキはクスクスと笑い、首を振る。

くふふ♡せんせーには
もっとお似合いの
射精方法があるよね？

彼女は細い足を私の股間に伸ばす。
つま先が陰茎に触れ、
ゆっくりと擦り始める。
ムツキの足裏が柔らかい感触に腰が震える

ほら、せんせー、私の足、
気持ちいいでしょ？

彼女の足が巧みに動き、
つま先で先端を軽く弾き、
足裏で全体を包み込むように擦る

ひゅっ

ひゅっ

突然、ムツキがニヤリと笑い、
足の動きを変えた。

——電気あんま。

彼女の足裏が素早く振動し、
陰茎と睾丸を同時に刺激する。
強烈な快感が全身を駆け巡り、
私は喘ぎ声を上げた。

ムツキ……やめ……！

だが、彼女は笑いながらおちんちんを踏み潰す。

ふふふ、せんせー、情けない声、かわいいよ！

ほら、私の足でイっちゃえー！

じゅっ

ぐちゃ



情けない声を上げ、私は耐えきれず射精した。
熱い奔流がムツキの足を濡らし、
彼女のクスクスという笑い声が響く。

くみみ、足でお漏らししちゃったねーせんせー♡

ね、せんせー、私のプレゼント、気に入った？
でも、まだ終わじゃないよ、続きも見せてあげる♡

くみみ

くみみ

くみみ

くみみ



そこにはムツキが男とセックスしている姿が映っていた
ベッドの上で、ムツキは四つん這いの姿勢で、
男が背後から彼女の華奢な腕を掴み、力強く突き上げる。
ムツキの身体がリズムミカルに揺れ、甘い喘ぎ声が
スピーカーから響く。

ばちゅん

ばちゅん

ぐちゃ

ぐちゃ

んっ……あっ……ふふ、もっ……

彼女の声は快感に満ちた色を帯びている。
男の動きが加速し、ムツキの臀部に打ち付ける音が響く。
彼女の髪が乱れ、小さな乳房が揺れる。



ムツキの顔がカメラに映し出されると、
彼女はアへ顔を晒していた。
赤い瞳が虚ろに潤み、半開きの口から
舌がチロリと覗き、涎が唇の端から滴る。
快感に耐えきれず、喘ぎ声をあげる。

男がさらに深く突き上げ、ムツキの身体が跳ねるたび、彼女の喘ぎ声は高まり、

あっ、んんっ……ぞ、いいっ……！♡

と快感に溺れている声が漏れる。
映像のクライマックスで、ムツキは身体を反らせ、快感の頂点で震えていた…

10/10

3036

映像の衝撃に二度射精しているのにもかかわらず私は興奮で勃起していた…

くふふ、また勃っちゃったね、せんせーもセックスしたい？

いいよーさせてあげる♡

それを聞いた私のおちんちんはびくびくと震えながら喜んだ…

しが…

彼女はベッドサイドからオナホールを取り出し、ニヤリと笑う。

ほら、せんせー、

ムツキの代わりに、これとセックスしようね♡

オナホールの冷たく柔らかな感触が陰茎を包み、
ムツキの手がオナホールを上下に動かす。
内部のヒタが擦れ、快感が押し寄せる。

あひいっ……♡
ムツキ、ひびく………!!

ムツキは笑いながら手を容赦なく動きを加速させていく。

ふふ、せんせーの短小包茎おちんちんは
オナホールで十分だよな♡
私のおまんこの感触想像しながらイっちゃえー!

ひびく

ひびく

ひびく

ひびく

映像のムツキが男と絡み合う姿と、オナホルルの刺激が重なり、理性は完全に崩壊した。情けない声を上げ、私はは耐えきれずオナホルルの中で射精した。マツ精液がオナホルルを満たし、ムツキのクスクスという笑い声が響く。

くふふ、せんせー気持ちよかったですよー！

こんな射精覚えたらもう自分でシコシコしても満足できないよね♡

じゃあ…次の射精まで一ヶ月我慢してみようか♡
くっふふ…♡

うふふ

ドクッ、
ドクッ

うふふ

うふふふふ

うふふ